

スローライフ通信 58

スローライフ通信
第58号
平成27年9月10日発行
編集：スローライフ広報委員会
社会福祉法人和興会
本部事務局
大阪府八尾市太田3-203
<http://www.slowlife.or.jp>



スローライフ生駒

今年も恒例の夏祭りを開催♪

今年の夏は猛暑を遥かに超える酷暑ともいえる、暑い夏でした。その酷暑も幾分穏やかになった、8月23日、毎年恒例の夏祭りを開催しました。



夜店に模してボーリング

今年はお隣の建物が工事期間中であつた為に、ケアハウス内で行うことになりました。また、いつもながら昼食後に夏祭りを行っていたのですが、昼食も一緒にしてはどうかという案があがり、昼食も兼ねて開催することにしました。



昼食も兼ねているので、内容はカレーライス・コロッケ・たこ焼き・あんみつ・かき氷・ジュース・ネイルサロン・ヨーヨー釣り・的当てのラインナップ。食べ物はもちろんおかわり自由。中でも好評だったのはコロッケ！今回は厨房さんの計らいで「お肉屋さんコロッケ」を発売したのだとか…これがなかなか美味しかったです。あんみつは一口二口サイズの小さなカップに入っていて黒蜜をかけて…何個でも食べられそうでした。(^^)去年好評だったネイルも今年も上々の盛況ぶりでした。そして、今年もセルフィッシュさんのくじは皆さん目を輝かせながら、はたまたま気合を入れながら

楽しんでおられました。

入居者のお孫さんや曾孫さんも見えられ皆さんの表情も緩み、いい笑顔をたくさん見ることができました。夕食後は、これまた恒例の花火大会。今回は若干花火の数を縮小したものの、皆さんにはちょうど良かったようです。次回は、打ち上げ花火を多めにしようかなあと来年に向けて今から構想を練るのです。



夏祭りの定番、花火もお楽しみいただけましたか？

各スローライフでの、行事や日常を紹介します。



すぐ身近にある、

それぞれの70年を思いをばせる

今年のご存知のように終戦から70年という年で、様々な催し物が各地で行なわれ、安倍晋三内閣総理大臣による談話も発表されました。賛否ある談話ですがそれはさておき、その中でも触れられていた「日本の人口の80%以上が戦後生まれ」という事実に目を向けたとき、いま考えなければならぬことがあると感じます。

ここスローライフ八尾を利用されている方々は、そうした戦争をいろんな形で体験している方がたくさんおられます。市井で暮らす人々の戦争、そして戦後。記録はされていなくても皆さんそれぞれの戦争、戦後が間違いなくあります。

◆ 戦時中に女学生だった女性(80代)は、学校の黒板に「日本がアメリカと開戦しました」と書かれていたことで開戦を知ったといいます。その後学徒動員により大阪府庁で作業していた折、おつかいのため瓦礫の中を歩いていると、グラマン戦闘機が低空飛行で近づいてきたので、倒れていたコンクリート製の防火用水槽の中に逃げ込んだそうです。ふるえて小さくなりながら外を覗くと、ちょうど銃を構えた米軍の操縦士と目が合い、戦闘機はそのまま通り過ぎて行ったそうです。そのほか終戦日の前日に、陸軍の砲兵工廠で作業をしていて空襲に合い命を落とした同級生がおり、終戦があと1日早ければ友達に助かったかも知れないと語ります。

戦争についての意見をここで述べるものではありませんが、私たちの施設に入所されている皆様は過酷な時代



◆ 娘時代に奈良県で終戦を迎えた女性(90代)は、空襲のたびに地面に掘った防空壕に逃げ込みじっと小さくなっていた思い出や、戦後、物や食べ物がなく、汽車に乗って名古屋まで買出しに出かけたものの、帰りの汽車で憲兵に全部取り上げられ、芋ばかりのお粥を食べて過ごしたといいます。

◆ 昭和18年8月に補充兵として徴兵された男性(90代)は、軍隊での教育や野戦の訓練を受けた後に朝鮮半島の大邱で初年兵の教育に関わられ、終戦後も現地で残務を行い昭和20年12月に帰国したそうです。その後は銀行員として戦後の復興にまい進されたとか。

をたくましく生き抜いて、現代の繁栄、平和を築いてこられた方々であることは間違いありません。大先輩の方々に対し、常に感謝の気持ちを持ち続けたいと考えます。



昭和20年3月13日大阪大空襲後 大阪市内の写真(画面下は道頓堀川)

応急手当講習が
開催されました

9月は防災月間です



救急隊員さんに、万一来るための指導を受けました

去る8月30日にスローライフ千里会議室で吹田北消防署から救急隊員さんが来られ、応急手当講習を実施しました。

人形を使った胸骨圧迫や人工呼吸訓練、要救助者を見つけた場合の対応、喉詰りに対する対応などを分かりやすく教えてもらいました。

スローライフ千里の職員10名、外部からの参加者4名、計14名が講習を受け修了証書を受け取りました。

参加者からは、「講習に参加する事で万が一の際の心構えを持つ事ができた」「目の前で人が倒れていても今までよりは冷静に対応できると思う」と等と言った感想が聞かれました。

事前にインターネットを使って行うWEB講習を含め4時間の研修でしたが、胸骨圧迫やAEDの使い方などの救命処置は知っていれば誰でも行えるもので、誰もが遭遇しうる救命の現場で少しでも動けるように多くの方に受けていただきたいと思う研修でした。



介護保険制度の 改定について

お気を付けてください。

平成27年8月から介護保険制度の一部が改正されました。

改正点について、概略だけお知らせいたします。

- 1 第1号被保険者で**一定以上の所得がある方**(例:合計所得金額が160万円以上、単身で年金収入のみのケース※)が、介護サービスを利用した時に1割負担から**2割負担**になります。
(※ 単身かご夫婦世帯かでも変わります。詳しくはお住まいの市区町村窓口にお問い合わせ下さい。)
- 2 介護サービスの負担の上限額(高額介護サービス費)が変わります。
「**現役並みの所得区分(上限)の方**」の上限額が37,200円から**44,400円**になります。
- 3 介護保険3施設(介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設)やショートステイを利用する方の**食費・部屋代の負担軽減の基準が変わります**。※2
(※2 負担軽減の審査要件に、現在の所得要件に加え資産要件(預貯金等)も加わります。)
- 4 特別養護老人ホームの相部屋(多床室)に入所する市区町村民税課税世帯の方等の**部屋代が自己負担**になります。

(注意)表記の金額の基準は所得です。収入ではありません。

ご自身の所得についてなどは、市区町村までお問い合わせ下さい。



ちょっと休憩

お盆明けに、暑気払いも兼ねて職員のご家族様が、営業に携わっているお店「沖縄紅豚あぐー専門店もも」で、会食となりました。

メインはお鍋、たっぷりの野菜と新鮮な「紅豚あぐー(あぐーとは沖縄豚肉の品種の名前)」をしゃぶしゃぶで堪能いたしました。聞けば「紅豚あぐー」は沖縄で、最高の豚肉でビタミンB1が通常の豚肉の2倍!とのこと。夏バテ気味の体に潤いがありました。(個人の感想です。)お店のスタッフの皆様、色々とお気遣い下さり、ありがとうございました。

「本町」近辺でお食事をされる際はぜひ!

大阪府中央区北久宝寺4-3-8 本町アーバンライフB1

「**沖縄紅豚あぐー専門店 もも**」

【アクセス】御堂筋「北久宝寺町3」交差点西に入ル

【営業時間】11:00~14:00 / 17:00~23:00

【定休日】日曜・祝日



お肉好きな人は
ぜひ。
写真は4人前



和貴会本部 〒581-0037 大阪府八尾市太田3丁目203番地 電話:072-920-2212 FAX:072-920-2213

スローライフ生駒 特定施設入所者生活介護(ケアハウス)
〒630-0266 奈良県生駒市門前町8番33号 電話:0743-75-1525 FAX:0743-75-1501

スローライフ八尾 〒581-0844 大阪府八尾市福栄町1丁目12番地 電話:072-990-0100 FAX:072-990-0022
介護老人保健施設・短期入所療養介護(ショートステイ)・通所リハビリテーション(デイケア)・居宅介護支援事業・訪問リハビリテーション
八尾市地域包括支援センター スローライフ八尾(電話:072-990-1220)

スローライフ千里 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園6番8号 電話:06-6816-1100 FAX:06-6816-1110
介護老人福祉施設入所者生活介護(特別養護老人ホーム)・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)・小規模多機能型居宅介護・
認知症対応型通所介護(デイサービス)・夜間対応型訪問介護・短期入所生活介護(ショートステイ)・居宅介護支援事業所ケアプランセンター

和きあいクリニック 〒581-0037 大阪府八尾市太田3丁目203番地 電話:072-920-2215 FAX:072-920-2213 内科・整形外科・皮膚科・訪問診療

スローライフ通信・第58号 平成27年9月10日発行
編集:スローライフ広報委員会
社会福祉法人和貴会
<http://www.slowlife.or.jp>

